

履修上の注意・授業科目配当表・卒業要件

1. ≪情報社会学科≫ 履修上の注意

令和4年度(2022)入学者用

以下に科目履修にあたっての注意点を挙げる。学生は履修細則と合わせて熟読し、卒業に際し、問題の起こらないよう留意すること。

1. 本学科を卒業するためには、学部規程別表Ⅰ「授業科目表」に記載されている科目のうちから、4年次終了までに、教養科目44単位以上、専門科目80単位以上、合計124単位以上を修得しなければならない。このうち平成28年度以降入学生については必修32単位、選択必修6単位の修得が必要である。
2. 履修は別表「授業科目配当表」に記された配当年次に行うのが標準であるが、これにとらわれずに自分の所属より下の年次に配当された科目を履修することもできる。早期卒業を希望する場合の情報社会総合演習を除いて、所属より上の年次に配当されている科目を履修することはできない。
3. 1年間に履修登録できる単位の上限は48単位である。本学科では2年次から3年次、3年次から4年次に進級するために必要な単位数を定めている。2年次終了までに28単位、3年次終了までに76単位を修得していなければ進級できない。進級要件を満たし、4年間で卒業するためには、各年次に36単位程度を修得し、4年次では情報社会総合演習の他、数科目を履修すればよくなるよう計画的に履修することが重要である。
4. 1～2年次に配当されている教養科目は、主として、情報、人文科学、社会科学、自然科学、外国語の5つの学問分野から構成されている。また、これとは別に大学卒業後の進路に対する支援を行う目的でキャリア・デザイン科目が設置されている。1～2年次には、学生はなるべく広い分野にわたる科目を履修することによって視野を広げていくことが望ましい。
5. 専攻別の選択必修科目に関する注意
経営システム専攻の学生は、教養科目のコンピュータ概論Ⅰ、コンピュータ概論Ⅱ、経営情報システム、経営学概論、イノベーション経営、法学概論の6科目のうち、3科目(6単位)以上を履修しなければならない。
メディア文化専攻の学生は、教養科目の英語圏文化論、浄土教の歴史と文化、音楽音響学概論、コンピュータ画像処理、芸術論、メディア論の6科目のうち、3科目(6単位)以上を履修しなければならない。
6. 専門科目には情報社会専門科目と心理専門科目がある。情報社会学科の学生は情報社会専門科目を中心に学ぶことになるが、心理専門科目も20単位までは卒業に必要な単位として認定される。心理専門科目の配当年次については心理学科の「授業科目配当表」を参照すること。

7. 3・4年次の演習に関する注意

3年次の情報社会一般演習は週1コマ、4年次の情報社会総合演習は週2コマ行われる。4年次には、指導教員と相談しながらテーマを定め、卒業研究を行う。原則として学生は2年間を通して同一の指導教員の演習に所属することになるので、3年次の演習の選択は慎重に行わなければならない。

8. 検定試験による単位認定については、本便覧中の「人間社会学部検定試験単位認定取扱規程」を参照すること。

2. 《情報社会学科》 令和4年度(2022)入学者用授業科目配当表

経営システム専攻

区分	1 学年				2 学年				
	前期		後期		前期		後期		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
情報系科目	◎ 情報リテラシー I	2	◎ 情報リテラシー II	2	人工知能入門	2	総合情報演習	2	
	○ コンピュータ概論 I	2	○ コンピュータ概論 II	2					
	ネットワーク・リテラシー	2	マルチメディア・リテラシー コンピュータ画像処理	2					
語学系科目	◎ 英語1	1	◎ 英語演習 I	1	◎ 英語2	1	◎ 英語演習2	1	
	※ 日本語 I	2	※ 日本語III	2	TOEIC I	1	TOEIC II	1	
	※ 日本語 II	2	※ 日本語IV	2					
	※ 日本事情 I	2	※ 日本事情 II	2					
デザイン科目			* コミュニケーション演習	1					
			異文化コミュニケーション(海外研修)	2					
	ボランティアの研究	2	ボランティアの研究	2	インターンシップ 人生と職業	2	インターンシップ	2	
一般教養科目	○ 法学概論	2	○ 経営学概論	2	○ イノベーション経営	2	メディア論	2	
	○ 経営情報システム	2	経済学概論	2	芸術論	2	脳と行動	2	
	文化人類学	2	政治学概論	2	仏教の歴史と思想	2	英語圏文化論	2	
	音楽音響学概論	2	哲学概論	2	ジェンダー論	2	中国の言語と文化	2	
	身近な物理	2	世界の宗教と歴史	2	ドイツの言語と文化	2	スポーツ文化論	2	
	宇宙の科学	2	20世紀の世界史	2	科学技術史	2	20世紀の日本史	2	
	教育と社会	2	グローバル社会と地誌	2	日本国憲法	2	浄土教の歴史と文化	2	
	福祉ビジネス論	2	自己理解の心理学	2	日本史概論	2	社会学概論	2	
	仏教精神 I	2	化学と生活	2	東洋史概論	2	簿記演習	2	
	体育実技 I	1	生命の仕組み	2	西洋史概論	2	数理基礎	2	
			心理学入門	2	フランスの言語と文化	2	人体の構造と機能及び疾病	2	
			仏教精神 II	2					
			体育実技 II	1					
				1					
	計	34	計	45	計	30	計	28	
	◎ 基礎演習 I	2	◎ 基礎演習 II	2	◎ プロジェクト演習 I	2	◎ プロジェクト演習 II	2	
	情報社会専門科目	◎ 情報学概論	2	プログラミング I	2	プログラミング II	2	情報セキュリティ	2
		プログラミング入門	2	情報の分析と活用	2	現代経済論	2	情報処理心理学	2
		会計学	2	情報と職業	2	データ解析法	2	企業と業界の分析 II	2
		映像と音楽	2	マーケティング論	2	企業と業界の分析 I	2	テキスト情報処理	2
デジタルデザイン基礎演習		2	平面構成演習	2	情報ネットワーク論	2	経営情報論	2	
音楽とメディアの歴史		2	テクノロジーと音楽	2	情報システム論	2	民法B	2	
音楽情報演習 I		2	国際法	2	民法A	2	行政学	2	
情報社会特講 I		2	Webデザイン基礎演習	2	音楽文化論	2	行政学	2	
			音楽情報演習 II	2	深層心理学	2	映像文化論	2	
			情報社会特講 III	2	音響環境論 I	2	アート・コミュニケーション論	2	
			ネットワーク社会論	2	音響環境論 II	2	アート批評論 II	2	
					アート批評論 I	2	音響環境論 II	2	
					デジタルサウンド演習 I	2	アート批評論 I	2	
					Webデザイン応用演習	2	デジタルサウンド演習 II	2	
					デジタルデザイン応用演習	2	空間構成演習 I	2	
					映像・音楽の総合表現と人間 情報関連法	2	空間構成演習 II	2	
							西洋史特講	2	
							東洋史特講	2	
							日本史特講	2	
							現代社会と倫理	2	
						3DCG演習	2		
						デジタル映像表現	2		
						情報社会特講 II	2		
計	18	計	24	計	34	計	46		
計	52	計	69	計	64	計	74		

(注記1) 必選欄の◎印は、必修科目を示す。

ただし、聴覚に障害をもつ学生は、英語演習Iに代えて

*印の科目を履修することができる。

(注記2) 必選欄の○印は、選択必修科目を示す。

教養科目の法学概論、経営学概論、経営情報システム、イノベーション経営、
コンピュータ概論 I・IIの6科目のうち、3科目(6単位)が選択必修である。

区分	3 学年				4 学年			
	前期		後期		前期		後期	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
授業科目	◎ 英語3 ビジネス英語入門	1 1	◎ 英語演習3 英語記事・論文読解	1 1				
	キャリアと自立	2	総合教養演習 現代社会理解	2 2				
	計	4	計	6	計	0	計	0
専門科目	◎ 情報社会一般演習Ⅰ	2	◎ 情報社会一般演習Ⅱ	2	◎ 情報社会総合演習Ⅰ	4	◎ 情報社会総合演習Ⅱ	4
	人文地理学	2	マルチメディア論	2				
	現代社会と宗教	2	ネットワーク管理	2				
	経営管理論	2	データベース論	2				
	知的財産権法	2	e-ビジネス論	2				
	映像環境論	2	ビジネス関連法	2				
	映像制作演習	2	情報メディア演習	2				
	デザイン演習	2	法学応用演習	2				
	サウンド・プログラミング演習	2	国際関係論	2				
	情報社会特講Ⅳ	2	哲学の源流	2				
	情報社会特講Ⅴ	2	自然地理学	2				
			地誌学	2				
			情報社会特講Ⅵ	2				
		システム管理	2					
	計	22	計	28	計	4	計	4
	計	26	計	34	計	4	計	4

(注記3) 必選欄の※印は、留学生の履修科目を示す。

(注記4) 必選欄の空白は、選択科目を示す。

(注記5) 必選欄の※印は、聴覚に障害をもつ学生の履修科目を示す。

(注記6) 心理専門科目については、心理学科の配当表を参照。

(注記7) 各年次の科目配当は、前後期での変更が発生する場合があるので注意すること。

※【再履修科目】

前期	
必選	授業科目
◎	情報社会総合演習Ⅱ(再)

2. <情報社会学科> 令和4年度(2022)入学者用授業科目配当表

メディア文化専攻

区分	1 学年				2 学年					
	前期		後期		前期		後期			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
情報系科目	◎ 情報リテラシー I コンピュータ概論 I ネットワーク・リテラシー	2 2 2	◎ 情報リテラシー II コンピュータ概論 II マルチメディア・リテラシー ○ コンピュータ画像処理	2 2 2 2	人工知能入門	2	総合情報演習	2		
	◎ 英語 I ※ 日本語 I ※ 日本語 II ※ 日本事情 I	1 2 2 2	◎ 英語演習 I ※ 日本語 III ※ 日本語 IV ※ 日本事情 II * コミュニケーション演習 異文化コミュニケーション(海外研修)	1 2 2 2 1 2	◎ 英語2 TOEIC I	1 1	◎ 英語演習2 TOEIC II	1 1		
	ボランティアの研究	2	ボランティアの研究	2	インターンシップ 人生と職業	2 2	インターンシップ	2		
デザイン系科目	○ 音楽音響学概論 文化人類学 法学概論 経営情報システム 身近な物理 宇宙の科学 教育と社会 福祉ビジネス論 仏教精神 I 体育実技 I	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1	経営学概論 経済学概論 政治学概論 哲学概論 20世紀の世界史 世界の宗教と歴史 グローバル社会と地誌 自己理解の心理学 化学と生活 生命の仕組み 心理学入門 仏教精神 II 体育実技 II	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1	○ 芸術論 ドイツの言語と文化 2 仏教の歴史と思想 2 ジェンダー論 2 イノベーション経営 2 科学技術史 2 日本国憲法 2 日本史概論 2 東洋史概論 2 西洋史概論 2 フランスの言語と文化	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	○ メディア論 ○ 英語圏文化論 ○ 浄土教の歴史と文化 ○ 中国の言語と文化 ○ スポーツ文化論 ○ 20世紀の日本史 ○ 社会学概論 ○ 簿記演習 ○ 教養基礎 ○ 人体の構造と機能及び疾病 ○ 脳と行動	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		
	計	34	計	45	計	30	計	28		
	一般教養科目	◎ 基礎演習 I	2	◎ 基礎演習 II	2	◎ プロジェクト演習 I	2	◎ プロジェクト演習 II	2	
		◎ 情報学概論 プログラミング入門 デジタルデザイン基礎演習 音楽とメディアの歴史 音楽情報演習 I 映像と音楽 会計学 情報社会特講 I	2 2 2 2 2 2 2 2	プログラミング I 平面構成演習 テクノロジーと音楽 国際法 Webデザイン基礎演習 音楽情報演習 II 情報と分析と活用 情報と職業 マーケティング論 情報社会特講 III ネットワーク社会論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	プログラミング II デジタルデザイン応用演習 音響環境論 I デジタルサウンド演習 I Webデザイン応用演習 映像、音楽の総合表現と人間 アート批評論 I 音楽文化論 現代経済論 民法A データ解析法 情報ネットワーク論 情報システム論 情報システムの分析 I 深層心理学 情報関連法	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	3DCG演習 デジタル映像表現 音響環境論 II デジタルサウンド演習 II 空間構成演習 I 空間構成演習 II アート批評論 II 映像文化論 アート・コミュニケーション論 民法B 行政法 行政学 情報セキュリティ 企業と業界の分析 II 情報処理心理学 テキスト情報処理 経営情報論 現代社会と倫理 西洋史特講 東洋史特講 日本史特講 情報社会特講 II	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
		計	18	計	24	計	34	計	46	
		計	52	計	69	計	64	計	74	
		情報社会専門科目	◎ 基礎演習 I	2	◎ 基礎演習 II	2	◎ プロジェクト演習 I	2	◎ プロジェクト演習 II	2
			◎ 情報学概論 プログラミング入門 デジタルデザイン基礎演習 音楽とメディアの歴史 音楽情報演習 I 映像と音楽 会計学 情報社会特講 I	2 2 2 2 2 2 2 2	プログラミング I 平面構成演習 テクノロジーと音楽 国際法 Webデザイン基礎演習 音楽情報演習 II 情報と分析と活用 情報と職業 マーケティング論 情報社会特講 III ネットワーク社会論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	プログラミング II デジタルデザイン応用演習 音響環境論 I デジタルサウンド演習 I Webデザイン応用演習 映像、音楽の総合表現と人間 アート批評論 I 音楽文化論 現代経済論 民法A データ解析法 情報ネットワーク論 情報システム論 情報システムの分析 I 深層心理学 情報関連法	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	3DCG演習 デジタル映像表現 音響環境論 II デジタルサウンド演習 II 空間構成演習 I 空間構成演習 II アート批評論 II 映像文化論 アート・コミュニケーション論 民法B 行政法 行政学 情報セキュリティ 企業と業界の分析 II 情報処理心理学 テキスト情報処理 経営情報論 現代社会と倫理 西洋史特講 東洋史特講 日本史特講 情報社会特講 II	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
			計	18	計	24	計	34	計	46
			計	52	計	69	計	64	計	74

(注記1) 必選欄の◎印は、必修科目を示す。

ただし、聴覚に障害をもつ学生は、英語演習Iに代えて

*印の科目を履修することができる。

(注記2) 必選欄の○印は、選択必修科目を示す。

教養科目の英語圏文化論、浄土教の歴史と文化、音楽音響学概論、

コンピュータ画像処理、芸術論、メディア論の6科目のうち3科目(6単位)が選択必修である。

区分	3 学年				4 学年			
	前期		後期		前期		後期	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
教養科目	◎ 英語3 ビジネス英語入門	1 1	◎ 英語演習3 英語記事・論文読解	1 1				
	キャリアと自立	2	総合教養演習 現代社会理解	2 2				
計	4	計	6	計	0	計	0	
専門科目	◎ 情報社会一般演習 I	2	◎ 情報社会一般演習 II	2	◎ 情報社会総合演習 I	4	◎ 情報社会総合演習 II	4
	映像環境論	2	情報メディア演習	2				
	映像制作演習	2	マルチメディア論	2				
	デザイン演習	2	哲学の源流	2				
	サウンド・プログラミング演習	2	自然地理学	2				
	人文地理学	2	地誌学	2				
	現代社会と宗教	2	法学応用演習	2				
	経営管理論	2	国際関係論	2				
	知的財産権法	2	ネットワーク管理	2				
	情報社会特講IV	2	データベース論	2				
	情報社会特講V	2	e-ビジネス論	2				
			ビジネス関連法	2				
			情報社会特講VI	2				
			システム管理	2				
	計	22	計	28	計	4	計	4
計	26	計	34	計	4	計	4	

(注記3) 必選欄の※印は、留学生の履修科目を示す。

(注記4) 必選欄の空白は、選択科目を示す。

(注記5) 必選欄の※印は、聴覚に障害をもつ学生の履修科目を示す。

(注記6) 心理専門科目については、心理学科の配当表を参照。

(注記7) 各年次の科目配当は、前後期での変更が発生する場合があるので注意すること。

※【再履修科目】

前期	
必選	授業科目
◎	情報社会総合演習 II (再)
	4

3. 《情報社会学科》 卒業要件一覧表

【令和4年度(2022)】入学者適用

区分	必修	選択必修	選択	合計
教養科目	10単位	6単位	28単位	44単位
専門科目	22単位	—	58単位	80単位
合計	32単位	6単位	86単位	124単位

1. 《心理学科》 履修上の注意

令和4年度(2022)入学者向け

以下に科目履修にあたっての注意点を挙げる。学生は履修細則と合わせて熟読し、卒業に際し、問題の起こらないように留意すること。

1. 卒業要件を満たすには、学部規程別表Ⅰ「心理学科授業科目表」に記載されている科目のうちから、4年次終了までに、教養科目44単位以上、専門科目80単位以上、合計124単位以上を修得しなければならない。卒業に必要な単位の内訳については「卒業要件一覧表」を参照すること。
2. 履修は「授業科目配当表」に記された配当年次に行うのが標準であるが、自分の所属年次より下の年次に配当されている科目を履修することもできる。早期卒業を希望する場合の総合研究演習を除いて、所属より上の年次に配当されている科目を履修することはできない。
3. 1年間に履修できる単位の上限は48単位である。3年次に進級するためには、2年次終了までに、卒業に必要な単位のうち28単位以上を修得しなければならない。4年次に進級するためには、3年次終了までに76単位以上を修得しなければならない。進級要件を満たし、4年間で卒業するためには、各年次に36単位程度を修得し、4年次では総合研究演習の他、数科目を履修すればよくなるよう計画的に履修することが望ましい。
4. 教養科目について
教養科目については、広く深い見識を身につけることを目的として、多岐にわたる学問領域の科目が設定されている。必修科目に設定されている英語や情報系の科目は必ず配当年次に履修すること。
5. 心理専攻科目について
専門科目のうち「心理専門科目」については、その専門性により年次配当がなされている。また、専攻ごとに必修科目と選択必修科目が設置されている。必修科目については、必ず配当年次に履修し単位を修得することが重要である。選択必修科目については、各専攻の指定科目のうち10科目以上の単位を修得しなければならない。
6. 演習・実験などの科目について
心理専門科目の必修科目として各年次に設定されている以下の科目は、心理学科における主要な科目である。授業の概要や進め方について第1回目の授業で詳しく説明されるので、必ず出席すること。
 - a) 基礎演習Ⅰ・Ⅱ（1年次）
心理学入門と位置づけられる演習科目であり、心理学科の複数の教員がそれぞれ異なる内容を指導する。学生は基礎演習のみに使用される少人数クラス（班と呼ぶ）に分けられる。各内容で使用する教室が固定されているので、毎回指定された教室に行くことになる。
 - b) 心理学実験・心理演習（2年次）
心理学実験は心理学的な実験について、心理演習は心理検査やコミュニケーションについての知識や技法を実践的に学ぶ科目である。いずれも心理学科の複数の教員がそれぞれ異なる内容（種目と呼ぶ）を指導する。学生はこれらの科目のみに使用され

る少人数クラス（班と呼ぶ）に分けられる。各種目で使用する教室が固定されているので、毎回指定された教室に行くことになる。

c) 一般実験演習Ⅰ・Ⅱ（3年次）

担当教員の指導のもとに専門的研究を行う科目である。一般実験演習は、基礎演習と心理学実験、心理演習の修得単位数について一定の基準を満たした者のみ履修できる。また、一般実験演習の担当教員は、2年次末に学生の希望を調査し、その結果に基づき学科で決定する。教員によって講義番号が異なるので、最終的に決定した担当教員の科目を履修すること。

d) 総合研究演習Ⅰ・Ⅱ（4年次）

総合研究演習Ⅰ・Ⅱは週2コマの授業として行われる。この科目では、担当教員の指導のもとに、卒業研究、または卒業研究に相当する研究成果の報告書を作成する。通常3年次の一般実験演習から担当教員の変更はないので、一般実験演習と同じ教員の科目を履修すること。

7. 情報社会専門科目について

専門科目のうち「情報社会専門科目」については、20単位までが卒業に必要な単位として認定される。情報社会専門科目の配当年次については、情報社会学科の授業科目配当表を参照すること。

8. 選択科目について

選択科目を選ぶにあたり、はじめから興味のある領域の科目のみにしぼってしまうのは、大学で学ぶうえで好ましいことではない。広い範囲の科目をバランスよく履修するよう心がけること。

9. 検定試験による単位認定について

検定試験による単位認定については「人間社会学部検定試験単位認定取扱規程」を参照すること。

10. 認定心理士および認定心理士（心理調査）について

（公社）日本心理学会による認定心理士および認定心理士（心理調査）の資格の取得を希望する者は、それぞれの単位認定基準に従い指定科目を履修する必要があるので注意すること。

11. 公認心理師指定科目について（臨床心理専攻）

公認心理師の資格取得を目指す臨床心理専攻の学生は、学部規程別表Ⅳ「公認心理師指定科目表」に記載されているすべての科目を履修しなければならない。公認心理師資格試験の受験資格を取得するには、これらすべての科目の単位を学部在籍中に修得しなければならないため、十分に注意すること。

12. 心理実習Ⅰ・Ⅱ（臨床心理専攻）

3年次配当科目の心理実習は、臨床心理専攻の学生のみが履修できる。この授業は通年で開講されるため、Ⅰ・Ⅱのどちらかが片方のみの履修はできない。履修希望者に対しては、それまでの授業態度や成績等を踏まえ、前年次末までに履修の可否を学科で判定する。

2. <心理学科> 令和4年度(2022)入学者用授業科目配当表

ビジネス心理専攻

区分	1 学年				2 学年			
	前期		後期		前期		後期	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
情報系科目	◎ 情報リテラシー I コンピュータ概論 I ネットワーク・リテラシー	2 2 2	◎ 情報リテラシー II コンピュータ概論 II マルチメディア・リテラシー コンピュータ画像処理	2 2 2 2	人工知能入門	2	総合情報演習	2
	◎ 英語 I ※ 日本語 I ※ 日本語 II ※ 日本事情 I	1 2 2 2	◎ 英語演習 I ※ 日本語 III ※ 日本語 IV ※ 日本事情 II 異文化コミュニケーション(海外研修) * コミュニケーション演習	1 2 2 2 2 1	◎ 英語2 TOEIC I	1 1	◎ 英語演習2 TOEIC II	1 1
	ボランティアの研究	2	ボランティアの研究	2	インターンシップ 人生と職業	2 2	インターンシップ	2
教養科目	文化人類学	2	心理学入門	2	仏教の歴史と思想	2	スポーツ文化論	2
	身近な物理	2	自己理解の心理学	2	ジェンダー論	2	20世紀の日本史	2
	宇宙の科学	2	哲学概論	2	科学技術史	2	社会学概論	2
	法学概論	2	世界の宗教と歴史	2	日本国憲法	2	メディア論	2
	福祉ビジネス論	2	経済学概論	2	イノベーション経営	2	浄土教の歴史と文化	2
	経営情報システム	2	経営学概論	2	芸術論	2	脳と行動	2
	音楽音響学概論	2	政治学概論	2	日本史概論	2	人体の構造と機能及び疾病	2
	仏教精神 I	2	20世紀の世界史	2	東洋史概論	2	簿記演習	2
	体育実技 I	1	グローバル社会と地誌	2	西洋史概論	2	教理基礎	2
			化学と生活	2	ドイツの言語と文化	2	中国の言語と文化	2
			生命の仕組み	2	フランスの言語と文化	2	英語圏文化論	2
			教育と社会	2				
			仏教精神 II	2				
		体育実技 II	1					
	計	32	計	47	計	30	計	28
心理専門科目	◎ 心理学概論 I	2	◎ 心理学概論 II	2	◎ 心理学実験	2	◎ 心理演習	2
	◎ 基礎演習 I (学習法基礎)	2	◎ 基礎演習 II (課題演習)	2	◎ 心理学研究法基礎 (心理学研究法 I)	2	○ 心理調査概論	2
	◎ 心理学統計法 I	2	◎ 心理学統計法 II	2	◎ ビジネス心理学	2	言語心理学 (学習・言語心理学 II)	2
					知覚心理学 (知覚・認知心理学 I)	2	○ 情報処理心理学	2
					発達心理学	2	○ 教育心理学	2
					臨床心理学 (臨床心理学概論)	2	福祉心理学	2
					深層心理学	2	精神疾患とその治療	2
					学習心理学 (学習・言語心理学 I)	2	心理学と職業	2
					○ 認知心理学	2	現代社会と倫理	2
					○ 社会心理学	2		
				映像・音楽の総合表現と人間	2			
				公認心理師の職業	2			
				関係行政論	2			
	計	6	計	6	計	26	計	18
	計	38	計	53	計	56	計	46

区 分	3 学年				4 学年			
	前期		後期		前期		後期	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
教養科目	◎ 英語3 ビジネス英語入門	1 1	◎ 英語演習3 英語記事・論文読解	1 1				
	キャリアと自立	2	現代社会理解 総合教養演習	2 2				
	計	4	計	6	計	0	計	0
心理専門科目	◎ 一般実験演習 I	2	◎ 一般実験演習 II	2	◎ 総合研究演習 I	4	◎ 総合研究演習 II	4
	心理学的支援法	2	○ 心理学研究法応用 (心理学研究法 II)	2				
	○ 心理データ解析法	2	○ 消費者理解の心理学	2				
	○ 健康・医療心理学	2	○ 交通心理学	2				
	○ 産業心理学 (産業・組織心理学)	2	神経・生理心理学	2				
	○ 犯罪心理学 (司法・犯罪心理学)	2	動機づけと情動 (感情・人格心理学 I)	2				
	○ 障害者・障害児心理学	2	人格心理学 (感情・人格心理学 II)	2				
	○ 社会・集団・家族心理学	2	学校臨床心理学 (教育・学校心理学)	2				
	○ コミュニケーション技法	2	○ ビジネス心理講読演習	2				
	○ 心理的アセスメント I	2	○ 哲学の源流	2				
	○ 心理的アセスメント II	2						
	○ 現代社会と宗教	2						
		計	24	計	20	計	4	計
	計	28	計	26	計	4	計	4

(注記 1) 必選欄の◎印は、必修科目を示す。

(注記 2) 必選欄の空白は、選択科目を示す。

(注記 3) 必選欄の○印は、専攻別選択必修科目を示す (10科目選択)。

(注記 4) 必選欄の◎印は、留学生の履修科目を示す。

(注記 5) 必選欄の*印は、聴覚に障害をもつ学生が履修できる科目を示す。

(注記 6) 情報社会専門科目については、情報社会学科の配当表を参照せよ。

(注記 7) 各年次の科目配当は、前後期での変更が発生する場合があるので注意すること。

※【再履修科目】

前期		
必選	授業科目	単位
◎	総合研究演習 II (再)	4

【ビジネス心理専攻】

2. <<心理学科>> 令和4年度(2022)入学者用授業科目配当表

臨床心理専攻

区分	1 学年				2 学年			
	前期		後期		前期		後期	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
情報系科目	◎ 情報リテラシー I コンピュータ概論 I ネットワーク・リテラシー	2 2 2	◎ 情報リテラシー II コンピュータ概論 II マルチメディア・リテラシー コンピュータ画像処理	2 2 2 2	人工知能入門	2	総合情報演習	2
	◎ 英語 I ※ 日本語 I ※ 日本語 II ※ 日本事情 I	1 2 2 2	◎ 英語演習 I ※ 日本語 III ※ 日本語 IV ※ 日本事情 II 異文化コミュニケーション(海外研修) * コミュニケーション演習	1 2 2 2 2 1	◎ 英語2 TOEIC I	1 1	◎ 英語演習2 TOEIC II	1 1
	ポランディアの研究	2	ポランディアの研究	2	インターンシップ 人生と職業	2 2	インターンシップ	2
教養科目	文化人類学	2	心理学入門	2	仏教の歴史と思想	2	スポーツ文化論	2
	身近な物理	2	自己理解の心理学	2	ジェンダー論	2	20世紀の日本史	2
	宇宙の科学	2	哲学概論	2	科学技術史	2	社会学概論	2
	法学概論	2	世界の宗教と歴史	2	日本国憲法	2	メディア論	2
	福祉ビジネス論	2	経済学概論	2	インバウンド経営	2	浄土教の歴史と文化	2
	経営情報システム	2	経営学概論	2	芸術論	2	脳と行動	2
	音楽音楽学概論	2	政治学概論	2	日本史概論	2	● 人体の構造と機能及び疾病	2
	仏教精神 I	2	20世紀の世界史	2	東洋史概論	2	簿記演習	2
	体育実技 I	1	グローバル社会と地誌	2	西洋史概論	2	教理基礎	2
			化学と生活	2	ドイツの言語と文化	2	中国の言語と文化	2
			生命の仕組み	2	フランスの言語と文化	2	英語圏文化論	2
			教育と社会	2				
		仏教精神 II	2					
		体育実技 II	1					
	計	32	計	47	計	30	計	28
心理専門科目	◎ ● 心理学概論 I	2	◎ ● 心理学概論 II	2	◎ ● 心理学実験	2	◎ ● 心理演習	2
	◎ 基礎演習 I (学習法基礎)	2	◎ 基礎演習 II (課題演習)	2	◎ ● 心理学研究法基礎 (心理学研究法 I)	2	心理調査概論	2
	◎ ● 心理学統計法 I	2	◎ ● 心理学統計法 II	2	ビジネス心理学	2	● 言語心理学 (学習・言語心理学 II)	2
					● 知覚心理学 (知覚・認知心理学 I)	2	情報処理心理学	2
					● 発達心理学	2	○ 教育心理学	2
					◎ ● 臨床心理学 (臨床心理学概論)	2	◎ ● 福祉心理学	2
					深層心理学	2	◎ ● 精神疾患とその治療	2
					● 学習心理学 (学習・言語心理学 I)	2	○ 心理学と職業	2
					● 認知心理学 (知覚・認知心理学 II)	2	現代社会と倫理	2
					社会心理学	2		
				映像・音楽の総合表現と人間	2			
				● 公認心理師の職責	2			
				● 関係行政論	2			
	計	6	計	6	計	26	計	18
	計	38	計	53	計	56	計	46

区 分	3 学年				4 学年			
	前期		後期		前期		後期	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
教養科目	◎ 英語3 ビジネス英語入門	1 1	◎ 英語演習3 英語記事・論文読解	1 1				
	キャリアと自立	2	現代社会理解 総合教養演習	2 2				
	計	4	計	6	計	0	計	0
心理専門科目	◎ 一般実験演習 I	2	◎ 一般実験演習 II	2	◎ 総合研究演習 I	4	◎ 総合研究演習 II	4
	○ ● 心理学的支援法	2	◎ ● 心理学研究法応用 (心理学研究法 II)	2				
	心理データ解析法	2	消費者理解の心理学 交通心理学	2 2				
	○ ● 健康・医療心理学	2	● 神経・生理心理学	2				
	○ ● 産業心理学 (産業・組織心理学)	2	○ ● 動機づけと情動 (感情・人格心理学 I)	2				
	○ ● 犯罪心理学 (司法・犯罪心理学)	2	○ ● 人格心理学 (感情・人格心理学 II)	2				
	○ ● 障害者・障害児心理学	2	○ ● 学校臨床心理学 (教育・学校心理学)	2				
	○ ● 社会・集団・家族心理学	2	○ ● 学校臨床心理学 (教育・学校心理学)	2				
	コミュニケーション技法	2	○ ● 学校臨床心理学 (教育・学校心理学)	2				
	○ ● 心理的アセスメント I	2	○ ● 学校臨床心理学 (教育・学校心理学)	2				
	○ ● 心理的アセスメント II	2	○ ● 学校臨床心理学 (教育・学校心理学)	2				
	○ ● 心理実習 I	1	○ ● 心理実習 II	1				
	現代社会と宗教	2	○ ● 心理実習 II	1				
		2	哲学の源流	2				
		計	25	計	21	計	4	計
	計	29	計	27	計	4	計	4

(注記 1) 必選欄の◎印は、必修科目を示す。

(注記 2) 必選欄の空白は、選択科目を示す。

(注記 3) 必選欄の○印は、専攻別選択必修科目を示す (10科目選択)。

(注記 4) 必選欄の※印は、留学生の履修科目を示す。

(注記 5) 必選欄の*印は、聴覚に障害をもつ学生が履修できる科目を示す。

(注記 6) ●印は、公認心理師指定科目を示す。

(注記 7) 情報社会専門科目については、情報社会学科の配当表を参照せよ。

(注記 8) 各年次の科目配当は、前後期での変更が発生する場合があるので注意すること。

※【再履修科目】

前 期		
必選	授業科目	単位
◎	総合研究演習 II (再)	4

【臨床心理専攻】

3. <心理学科> 卒業要件一覧表

【令和4年度(2022)】入学者適用 (ビジネス心理専攻)

区分	必修	選択必修	選択	合計
教養科目	10単位	—	34単位	44単位
専門科目	32単位	20単位	28単位	80単位
合計	42単位	20単位	62単位	124単位

【令和4年度(2022)】入学者適用 (臨床心理専攻)

区分	必修	選択必修	選択	合計
教養科目	10単位	—	34単位	44単位
専門科目	34単位	20単位 ^{*注1} 19単位 ^{*注2} 18単位 ^{*注3}	26単位 ^{*注1} 27単位 ^{*注2} 28単位 ^{*注3}	80単位
合計	44単位	20単位 ^{*注1} 19単位 ^{*注2} 18単位 ^{*注3}	60単位 ^{*注1} 61単位 ^{*注2} 62単位 ^{*注3}	124単位

*注1 実習科目を履修しない場合

*注2 実習科目を1科目履修する場合

*注3 実習科目を2科目履修する場合